

## 📺 コロナ禍でもそれぞれの形でお伊勢講行事を実施



毎年2月11日、例年なら市内各地域ではお伊勢講行事が行われますが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため行事の全部、または一部を中止する集落が多くありました。

祠の宿迎え行事で参加者全員が一斉に前の人を榊の葉で祓う珍しい風習のある大浦町平原集落では、棒踊りを中止し宿迎え行事のみを実施。笠沙町片浦集落では、賑やかなご神幸行列を中止し片浦公民館で神事のみを行い、キツネや



ヒョットコの面をつけた二才衆が公民館前で「オイヤナーオイヤナー」と掛け声を上げました。

一方、小湊中央自治会では感染症対策をして従来通りお伊勢講行事が行われました。疱瘡(天然痘)にかかった旦那と馬方(馬子)が、治癒祈願に伊勢神宮を訪れ、その道中をユーモラスに表現した馬方踊り(茶屋ん嬢)を保存会会員が披露し、集まった住民は疱瘡をコロナになぞらえて新型コロナウイルス感染症の収束を願いました。

## 📺 「岩元家住宅主屋」が国登録文化財に



2月26日、坊津町秋目の「岩元家住宅主屋」が国土の歴史的景観に寄与しているとして、国の登録有形文化財に登録されました。

この建物は、旧網元の住宅で、木造瓦葺の和風建築です。敷地を囲む石垣は、映画「007は二度死ぬ」にも登場します。保存に尽力してきたNPO法人「がんじん・里づくり秋目ネット」や地元住民による活動のもと、港町秋目の歴史的建造物として、今後の活用が期待されます。

## 📺 県下一周駅伝 Bクラス優勝 川辺



第68回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会(2月13日～17日)で、地元川辺チームが総合4位に入り、Bクラス優勝と3年ぶりのAクラス昇格を果たしました。Bクラス優勝を祝し、市役所本庁舎ロビーでは3月8日～12日、優勝旗・カップ・賞状などの展示を行いました。川辺チームの茅野竜生監督は「チームの雰囲気良かった。来年はさらに上位を目指す」と躍進を誓いました。